

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-006

PDCA	事務事業名	ふるさと新発見事業	部課等名	企画部	企画課	企画担当	担当	野村
							内線等	226
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち						
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進						
		基本施策： 2. コミュニティ活動支援						
		単位施策： 個別施策：						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	市内に眠る地域資源・魅力を掘り起こし、それを磨き上げ広くPRしていくことで、市民の自分のまちに対する愛着と誇りの醸成を図るとともに、地域の活性化を図る。						
	目的を達成するための手段・活動内容	概ね5年サイクルで重点地区を設定するなか、平成30年度からは成岩地区を重点地区とし、将来にわたって地元住民・団体が主体となって活動が継続するよう、地元住民とともに活動内容を考え事業を展開していく。						
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位		
		①地域資源を活用した協働イベント日数(雨天中止含む)	2	1	1	日		
		②地域資源の活用を促進するためのツール制作	—	1	1	点		
		事業費	232	151	618	千円		
		人件費	1,904	1,874	3,105	千円		
		総事業費	2,136	2,025	3,723	千円		
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位			
	①半田市民一人当たりにかかるコスト	17.8	16.9	31.0	円			
	②							
	③							
成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位			
	重点地区2年目の年として、成岩地区の魅力に住民へ発信するために、コンテンツの制作やイベント等を企画・開催し、地元への愛着や誇りを醸成していく。	実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない				
		②市民ニーズ —	⑤成果向上の余地 ある					
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —					
	事業の評価・課題	<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> 初年度に製作した「ならわまち歩きマップ」を活用し、まち歩きイベントを企画した。また、地区内に寺が多く所在するという特徴から「てらまちガイドブック」を製作した。製作にあたり、寺院の住職と意見交換し、既成概念にとらわれない寺院でのイベントや活用方法があることがわかり、多様な角度から寺院の情報を掘り下げることができ、成岩の魅力を再認識してもらえた。継続的に事業を推進するために必要な核となる団体・人物については、引き続き模索していく必要がある。						
<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;"><b>改善推進</b></p> 長年成岩地区に住んでいる方はもちろん、地域に関心の低い方にも成岩地区に興味を持ってもらえるよう、マップ等を配布するだけでなく、実際に参加できるイベント等を行い、成岩地区の魅力を直接見たり聞いたりすることで、地域への愛着の醸成を図っていく。						
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位				
		重点地区3年目の年として、これまでに作成した成岩の魅力を発信するためのコンテンツを活用しながら、成岩地区の住民・団体とともにイベント等を企画・開催し、地元への愛着や誇りを醸成していく。						